

テーマ

「未来の守山のあるべき姿を考える」

- 開催日・場所2025年1月19日(日) 守山市役所防災会議室
- 参加者

市民 17 名、市民ファシリテーター10名、 龍谷大学 政策学部 只友教授 龍谷大学 学生ファシリテーター6名 9月からはじまった市民ワークショップもいよいよ第4回で最後です。

今までのワークショップの結果をもとに、 事務局で基本方針のもとになる「5つの視点」を設定しました。今回は「5つの視点」ご とに、未来の守山のあるべき姿(目指す方向)について意見交換を行い、守山が目指す 将来の姿をひとつの文章にまとめます。

5 つの視点

まちづくりの主役である、市民一人一 人の育ちや活躍、様々な人と人とのつ ながり方や地域の役割のあり方

市民の幸せなくらしを支える、住まう、 **はいた。** 働く、育てる、食べる、憩うなど日常・非 日常の生活各場面のあり方 **#** 5

市民の生活とまちの活動の基盤となる、土地の使い方や拠点となる場所、地域間の移動のしくみなどのあり方

環境

まちの魅力を形づくり活動の源泉となる、自然環境や歴史文化など有形無形の地域資源のあり方

総合

4つの視点を超えてまちを全体的にと らえたもの

### 宿題の発表

第3回ワークショップ終了後、参加者には「それぞ れが考える守山市の将来の姿」について、自宅で 考えてくるようお願いしました。

最初に、各自、考えてきていただいた意見を発表 し、それを5つの視点に分類します。

みんなの意見を聞いて分類が終わった後、本日話 し合いたい視点を選びます。



# 未来の守山に向けての思いをまと

視点ごとに、どんなまちになってほしいか、テーブ ルワークで意見を出していきます。

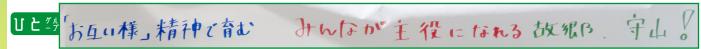
共通する点、重要な点をみつけ、どんな未来にし たいかを絞り込み、キーワードとなる言葉をつな ぎ合わせて、未来のあるべき姿を文章にします。



#### 発 表

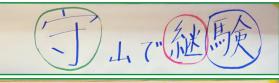
テーブルことに発表していきます。一文にした未 来の守山のあるべき姿と、そこに込めた思いを全 体で共有します。

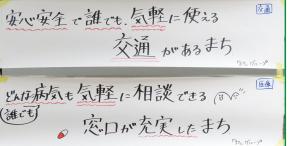


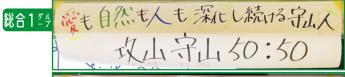


**くらし**23



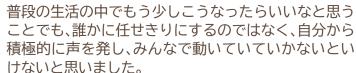






総合2型分人なごつくり、みんない参える 持続可能なお子山 ~見記目標と達成度~

## 参加してみて







転勤族ですが、参加させていただいたことで、まちって こういう見方をするんだとか、こういう長所とか課題 とかがあるんだっていうのがよくわかり、勉強になり ました。

# ワークショップの 結果が活かされます

市民意識調査やワークショップでいただい た市民のみなさんの意見は、今後「長期ビ ジョン」を検討していく中で、さまざまな部 分で反映していく予定です。長期ビジョン の内容が固まる10月頃にパブリックコメン トを実施し、市民のみなさんから最終的な ご意見をいただく場を設けます。